

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

4年ぶりに開催された口笛の世界大会で優勝に輝く



口笛世界大会2022
チャンピオン
小暮裕司さん

口笛音楽の普及を目指して

「口笛の魅力は、楽器がなくてもいつでもどこでも演奏できるところ。楽器と歌の中間地点にあるのでさまざまな曲にも対応でき、表現を追及する奥深さがあります。」と話すのは、昨年10月に開催された口笛世界大会2022の成人男性音源伴奏部門で見事優勝し、口笛の世界チャンピオンとなった小暮裕司さんです。

幼いころからピアノ演奏などで音楽に触れて育ってきた小暮さんが、口笛音楽と出会ったのは10年ほど前。テレビ番組で見た口笛演奏に感銘を受け、その後、口笛世界大会の存在を知り、『自分にもできそう。』と思ったことがきっかけで、本格的に口笛音楽を始めました。

口笛音楽は息の使い方や音色を調整するほか、素早く2つの音を繰

り返すトリル奏法や、高速でメロディを奏でるウォープリング奏法などの特殊奏法を取り入れることで、高度な演奏を可能にしています。

世界大会では『自分が一番うまいぞ。』という、強い思いを持って演奏したと語る小暮さん。そんな自信が演奏に乗って伝わったことで、不利になりがちな1番手という逆境を乗り越え、優勝をつかみました。

「口笛は自分の音楽のすべてであり、自分を一番表現できる楽器です。口笛音楽を普及させ、1つのジャンルとして当たり前のように受け入れられる世の中にしたいですね。」と語る小暮さんの姿からは、口笛音楽への情熱があふれていました。



▲優勝トロフィーを持つ小暮さん

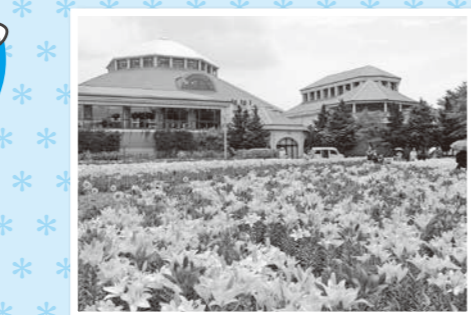
ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか散歩

深谷グリーンパーク



今回は、屋内プール『パティオ』も同じ敷地内にある、『深谷グリーンパーク』に来たよお〜。汗をかいたらパティオでひと泳ぎ！というのもいいかもねえ〜。予約制でバーベキューやキャンプもできるんだって。早速お散歩してみよう！



◀花壇にはきれいなユリの花が咲いてたよお〜。秋はコスモス、春はチューリップになるんだって！季節ごとに変わるから楽しみだねー！



▲敷地の奥にヒマワリ畑を発見！ここは『ポタジェの庭』という花壇だよ。写真スポットもあったよお〜。お気に入りの1枚を撮っちゃおう！

ふっかちゃんのつぶやき

9月18日は敬老の日だよお〜！おじいちゃん、おばあちゃんに感謝の気持ちを伝えよう。お手紙とかもいいよねえY(*´ω`*)Y



『農業』で

深谷を元気に！

深谷市では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。問い合わせ/産業ブランド推進室 ☎577 - 3819
産業ブランド推進室 [検索](#)



『ネギーチャレンジ』 ～みんなの頑張りが『ネギー』になる～

ネギーチャレンジとは、まちづくりの取り組みを『ネギーチャレンジ』と題し、市民の皆さんにさまざまなチャレンジに参加していただくものです。

みんなで力を合わせ、見事チャレンジの目標を達成した場合、期間限定で、地域通貨ネギーでの支払い時に還元されるポイント還元率を引き上げるなどのキャンペーンを行います！

目的は『地域課題の解決』

地域通貨ネギーは、『地域内経済循環の向上』と『地域課題の解決』を目的として事業を実施しています。

このうち、ネギーチャレンジの目的は『地域課題の解決』です。

まちづくりに興味関心を持って、楽しみながらチャレンジに参加することも、地域通貨だからこそその魅力のひとつです。

チャレンジ第1弾を実施しました！

ネギーチャレンジの第1弾として『埼玉県知事選挙の投票率アップ大作戦！！』を実施しました。このチャレンジは、皆さんのご協力により、見事達成できました。

今後も環境や福祉など、さまざまな分野でチャレンジを実施予定です。実施の際は、市ホームページなどで発信しますので、ご確認ください。



▲市ホームページ

心の広場

花園小学校4年(現5年)
小淵 菜美さん

悪口を言われて…

わたしは、小学校2・3年生の時、「ブタ」と悪口を言われました。悪口を言ったのはA君です。A君は、わたしの近所のB君の友達です。

わたしがB君と遊んでいると、A君に悪口を言われる事がよくありました。A君に悪口を言われた時、とても心が痛かったです。

家に帰って、家族に相談すると、お母さんが、「じゃあ、先生と話す機会があるから、話しておくよ。」と言いました。お母さんに相談したら心の痛みが少しやわらいた気がしました。その後、お母さんが先生に相談してくれました。

学校に行くと、先生がとても心配そうに、「だいじょうぶだった？」と言ってくれました。次の日、先生が教室に来る時間がいつもよりおそくて、

「どうしたのかな。」と思っていたら、先生がA君に注意してくれたみたいです。それからしばらくは、A君から悪口を言われなくなり、わたしはホッとしました。

3年生の下校の時、2年生のCちゃんにA君が、「ばか」とまた悪口を言っていました。Cちゃんは悲しそうに歩いていました。わたしは、A君に言われた気持ちを思い出し、Cちゃんに

「だいじょうぶだよ。」と声をかけました。声をかけるとCちゃんは少し元気になった気がしました。わたしは、A君にされたことをCちゃんに話しました。

「わたしもA君に悪口を言われた事あるよ。悪口を言われた時、心にもやもやができて家族と先生に相談したよ。」と言いました。Cちゃんは少しおどろいていたようですが、元気に、「ありがとう。」

と言って、ホッとしているようでした。

わたしは、A君に悪口を言われた悲しいできごとが、Cちゃんにとっては安心できたようです。そしてわたしは、「あの時、声をかけてよかったな。」と思いました。

